



SANO NIHON UNIVERSITY
SECONDARY SCHOOL



[広報]

わかざくら

W A K A Z A K U R A

vol.62

2023. 3. 1



中等運動会



オーストラリア研修旅行(5年)



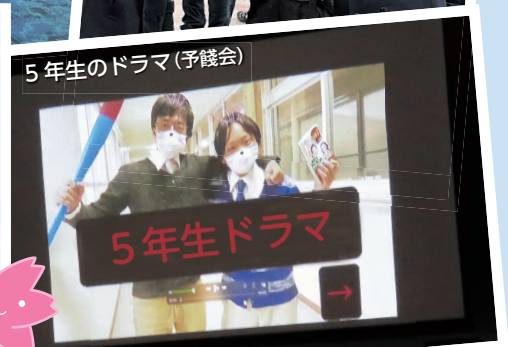
伏見稲荷神社(3年)



女川駅前(3.11を語り継ぐ旅)



いつも、ここにいた



5年生のドラマ(予餞会)



飯ごう炊さん(1年)



出陣式(6年)



戦場ヶ原(4年)

目次

卒業式式辞(校長・理事長)	P 2
卒業生各賞受賞者	P 3
研修旅行	P 4
中等運動会・立志式	P 5
輝く仲間たち	P 6

佐野日本大学中等教育学校

栃木県佐野市石塚町2555 ☎ 0283-25-0111(代)
<http://ss.sanonihon-u-h.ed.jp/>

卒業式にあたって



心やさしい科学の子

校長 船渡川 重幸

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。
猛威を振るった新型コロナウイルス感染症も、少しずつ落ち着く気配を見せ、日常が見え始めました。このことは、人類史上数多く繰り返されてきた様々な感染症の恐怖を、「思い出す」きっかけとなりました。古くは天然痘やペスト、近くはSARSや新型インフルエンザ、どの感染症も人類の存続を脅かす存在でしたが、人々の知恵と工夫によって克服されました。しかし、だからといって忘れてしまっていいというものではありません。

ロシアによるウクライナ侵攻。他の国を侵略してはいけないこと、そして争いがいかに醜く、愚かで、何も生まないものかを、人類は骨の髄まで知っていたはずですが。しかし「思い出さない」のです。繰り返してしまうのです。

思い出すこと、過去を振り返ること、そしてもう一度歴史から、つまり人類の失敗から学ぶことが、この、直近の二つの大きな出来事から私たちが汲み取るべきことなのではないでしょうか。

ところで皆さんは日本を代表する漫画家でありアニメーターの手塚治虫さんの「鉄腕アトム」をご存知でしょうか。ちょうど60年前の1963年に放映が開始されたSFアニメです。科学の粋を集めて作られたロボットのアトムが正義のために活躍します。この「鉄腕アトム」のテーマソングは『スイミー』の翻訳で知られる詩人の谷川俊太郎氏が作詞していますが、その中に、“耳をすませ、目をみはれ、そうだアトム、油断をするな”という歌詞があります。この作品は21世紀が舞台ですが、60年たっても、私たち人類は多くの難題を抱えています。おそらく私たち自体、特に心の進化がなければ、いかに科学が発展しても、同じことを繰り返すだけでしょう。ですから、これから生きてゆく皆さんには、60年前と同じメッセージを伝えます。「耳をすませ、目をみはれ、油断をするな」と。

思い出してください。6年前の4月5日の入学式を。その時感じた、心が震えるような不安と期待、そしてその時の誓いを思い出してください。18歳の、今の皆さんをつくった、友人との、先生方との、かけがえのない本校での2190日を。きらめく思い出の一つひとつを。「鉄腕アトム」の歌詞の中でアトムが呼ばれているように、卒業生の皆さんには「心やさしい科学の子」であってほしい。偏らない多くの知識と優れた技能を持ち、それだけでなく、自分を幸せにし、同時に他者の幸せも考える、そんな「心やさしい科学の子」であってほしいと、強く願っています。(抜粋)



「失敗」のすすめ

理事長 長谷川 弘

「米国労働人口の47%がAIなどの機械に代替されるリスクが70%以上」。この論文がマイケル・A・オズボーン氏らによって発表されたのが2013年。そして現在、金融業界等で「RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）」が定型事務作業の自動化により職員の残業時間を削減し、自律的に判断・行動する「スマートマシン」の普及が大量失業の可能性を示唆するなど、その兆候は確実にあらわれています。また「第四次産業革命」と「ソサイエティ5.0」の到来は、世界の産業構造と就業構造を劇的に変化させ、日本でも2018年、内閣府が「人間中心のAI社会原則（案）」を発表するなど「AI-Ready」な社会の策定が進められています。

一方で「東ロボくんの母」、国立情報学研究所・社会共有知研究センター長の新井紀子教授のように「シンギュラリティ（技術的特異点）は来ない」という識見もあります。自然言語は数学が扱えない領域のためAIに倫理観や価値観が絡む判断はできず、人間を超えられないと見るものです。

ゆえに人間特有の発想・創造力を表す言葉である「IDEA（intuition: 直感、design: デザイン、emotion: 感情、art: 芸術）」に基づくアート思考を鍛えていくことは非常に大切になります。さらに人間には、個々の力を倍増させる3つの「ワーク」があります。他者と協力（コラボレーション）して作業するチームワーク、アイデアを生み出す力となる人的ネットワーク、失敗を恐れず挑戦するフットワーク、すなわち行動力です。テスラ共同創業者兼CEOであるイーロン・マスク氏が「アイデアを実行すること」の重要性を述べています。

またそれに加え、全力で努力した結果としての「失敗」が、イノベーションをもたらします。ダイソン社の創業者ジェームズ・ダイソン氏はサイクロン掃除機の開発に臨み、なんと5126回も失敗しています。失敗の繰り返しが人間を強くすること、つまり「レジリエンス」の重要性です。強い風に吹かれた竹は大きく揺れ動くものの、決してすぐに折れたりはずせず、しなることで柔軟にやり過ごし、またもとの位置に戻ってきます。このしなやかさと、跳ね返る力こそが失敗から立ち直る力、すなわちレジリエンスの持つ強さです。

皆さんはこれから、それぞれの人生を歩んでいきます。そこでまずは、たくさんの人と出会い、多くの本を読み、時には旅に出ることで経験を深め、価値観を広げてください。そしてそれを土台として積極的に行動し、全力で挑戦を重ねてください。多くの挑戦は多くの失敗につながりますが、その苦境からの回復が皆さんをたくましくするので。

卒業生の皆さんが「しなやかで強い心」をもって、この大変革の時代を生き抜くことを期待し、はなむけの言葉といたします。

令和4年度 卒業生 各賞受賞者

日本大学学長賞 (学業部門)



澤井 優実
(栃木・大平西小)

日本大学優秀賞 (学術・文化部門)



大木 眞希
(小山・小山城東小)

佐野日本大学学園理事長賞



月澤 優杜
(桐生・西小)



青柳 遥久
(館林・第十小)

佐野日本大学中等教育学校校長賞



稲葉 心海
(小山・羽川小)



片柳 美玲
(館林・第二小)

日本私立中学高等学校連合会会長賞



菊地 彩乃
(足利・けやき小)

高校生新聞社賞



牧野 未歩
(栃木・大宮北小)

三か年皆勤賞

- *新井 康太 (みどり・笠懸小)
- *廣田 悠輝 (古河・西牛谷小)
- *長谷川美有 (小山・旭小)
- *青木 美澗 (栃木・栃木第三小)
- 大槻 妃菜 (館林・美園小)
- 菊地 彩乃
- 荻原 菜緒 (足利・青葉小)
- *片柳 美玲
- *杵渕 知聖 (足利・青葉小)
- 田崎 胡桃 (筑西・関代東小)
- *森田 竜聖 (小山・大谷東小)
- 井上 和奏 (板倉・北小)
- *鈴木 美咲 (栃木・栃木第五小)
- 牧野 未歩

*は六か年皆勤

三か年精勤賞

- 月澤 優杜
- 濱 蒼果 (佐野・植野小)
- 今西さくら (羽生・川俣小)
- 海老沼実花 (佐野・植野小)
- 長谷川咲耶 (足利・大月小)
- 青柳 遥久
- 金子 留玖 (伊勢崎・宮郷第二小)
- 澤井 優実
- 田部井 瑠 (小山・小山城東小)
- 岡田勘太郎 (邑楽・長柄小)
- 加藤 圭佑 (佐野・佐野小)
- 飛岡 颯馬 (伊勢崎・境東小)
- 横山 慎志 (栃木・小野寺南小)
- 阿久津美汐 (小山・大谷東小)
- 井上 拓実 (佐野・界小)
- 羽生 成冴 (栃木・大平中央小)
- 山崎 勇翔 (太田・太田東小)
- 大島 歩由 (佐野・赤見小)

渡邊 翠 (結城・結城西小)

栃木県高等学校文化連盟賞

岡田 七海 (佐野・天明小)

栃木県合唱連盟賞

磯貝 心春 (佐野・犬伏東小)
岡田 七海

奨励賞

チャーチル杯英語弁論大会東日本大会優勝
大木 眞希

部活動功労賞

水泳部
山下 聖 (熊谷・吉岡小)
書道同好会
岡田 七海

部活動努力賞

男子バスケットボール部
荒川 聖明 (栃木・国府北小)
月澤 優杜
金子 留玖
船田 優輝 (栃木・静和小)
村田 栄人 (大泉・東小)
小林 空葵 (足利・東山小)
山崎 勇翔
合唱部
磯貝 心春
澤井 優実
和太鼓部
片柳 美玲
武安 彩華 (葛飾・花の木小)
牧野 未歩
ディベート部
今西さくら

茶道同好会

長谷川咲耶
書道同好会
海老沼実花
鈴木 美咲
数学研究同好会
青柳 遥久

感謝状

生徒会

田中 菜々 (佐野・山形小)
吉川 遥 (佐野・佐野小)
金子 留玖
馬場 楓 (幸手・幸手小)
井上 拓実

浦田教育基金 学園創立60周年記念事業募金

本学園では、浦田教育基金並びに、学園創立60周年記念事業募金のご協力をお願いしております。皆様からお寄せいただきましたご厚意は、生徒学生の奨学金及び、本学園の教育・施設設備等に活用させていただきます。今後とも、本学園へのより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

～ご寄付賜りました法人様・団体様～

有限会社篠崎商店様、有限会社協伸建設様、有限会社オクサワ商会様、篠崎木工株式会社様、宗教法人惣宗寺様、税理士法人あさひ小山城南本部様、株式会社川田サッシ工業様、株式会社フォー・エックス様、株式会社ハクエイエンタープライズ様、株式会社佐野中央自動車教習所様、日星石油株式会社様、有限会社あさくら様、弁天食堂様、有限会社ヨコタスポーツ様、有限会社ノゾワスポーツ様、有限会社地中海料理アンドラ様、関東旅行株式会社様、さくら総合サービス株式会社様、関東自動車株式会社様、株式会社娘屋様、株式会社明石スクールユニフォームカンパニー様、池頭塗装株式会社様、株式会社SN様.com様

(令和4年3月～令和5年2月)

なお、個人の皆様からも多数のご寄付をお預かりいたしました。ご本人様からのお申し出により、ご芳名の掲載は控えさせていただきます。

学年研修

秋から冬にかけて学年での研修旅行が実施された。友達と協力し、朝から晩まで一緒に過ごすことで、互いの絆をさらに深め、思い出に残る研修旅行となった。

1年



9月14日(水)～16日(金)
福島県裏磐梯国内研修

五色沼トレッキング、キャンプファイヤー、星空観察会、起き上がり小法師絵付け

12月1日(木)～3日(土)
京都・奈良国内研修

東大寺・法隆寺・清水寺・伏見稲荷神社の見学、班別研修



3年

4年



11月24日(木)・25日(金)
日光国内研修

戦場ヶ原トレッキング、日光東照宮の見学、班別市内観光



5年

10月16日(日)～23日(日)
オーストラリア研修旅行

シドニー観光・班別自由行動、The University of Sydney B&Sプログラム、ケアンズ姉妹校訪問、アクティビティ(山・海・体験型動物園など)



12月11日(日)～19日(月)
ハンガリー研修旅行

ウィーン観光・歌劇鑑賞、姉妹校フンバルビヤーノシュ高校の生徒宅でのホームステイ、ブダペスト観光、ゲデレー城観光、カーロリ大学訪問

海外研修 ほか

コロナ禍による3年間のブランクを経て、行事の日程を調整しながらではあったが、今年度は海外研修や「3.11を語り継ぐ旅」を実施することができた。現地の方々との触れ合いや、さまざまな体験を通して、新たな気づきや視点を得られ、自分の成長を実感した研修となった。



1月22日(日)～3月11日(土)
ニュージーランドターム留学

ホームステイをしながら、現地校での授業を受け、さまざまなことを体験します。日本と異なる文化に飛び込み、一つでも多く吸収しようと一生懸命に学んでいます！

10月8日(土)～10日(月)

3.11を語り継ぐ旅(宮城県)

旧大川小学校フィールドワークと討論会、「アイリンブループロジェクト」、セヶ浜町のみなさんとの交流、南三陸町でのフィールドワーク



本校ではこうした海外研修を見据え、1年次から全生徒がケンブリッジ英検を受検します。この試験は全世界で受験されている世界標準の4技能英語検定試験です。また、この試験結果は国内外の大学受験で活用することができます。来年度は7月27日(木)に受験する予定となっています。

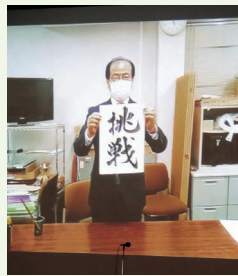
中等運動会

11月3日（祝）、スタジアム30で中等運動会が開催された。中等単独の運動会は初の行事とあって、たくさんの種目に参加することができた生徒たちの楽しそうな笑顔があちこちでこぼれる行事となった。



【予餞会 — 卒業生を送る】

12月21日（水）の3・4時間目に予餞会が中等体育館で開催された。生徒が一堂に会しての予餞会に、送られる6年生は感激していた。劇やドラマ、合奏や合唱など、短い準備期間の中で在校生や教職員が準備した心のこもった出し物が次々に行われ、楽しい会となった。



【消費者教育講話】

1月25日（水）、5・6年生を対象とした消費者教育講話が、講師に弁護士の阿久津正巳先生をお招きして行われた。成人年齢の引き下げに伴い、契約には自己責任が発生することを踏まえて、慎重に行動してほしい。



【芸術鑑賞会】

10月25日（水）、「和太鼓パフォーマンスグループ 和-jin」と「和楽器ロックバンド The Shamisenists」の演奏を楽しんだ。



【立志式】

2月4日（土）、立春の佳き日に2年生の立志式が行われた。古来の元服が14歳くらいであったことに由来し、自分の将来に思いを馳せ、志を新たにする行事となっている。長 姫妹有さん（栃木・家中小）が代表として誓いの言葉を堂々と述べた。来年度から始まるセカンドステージでの成長に期待したい。



輝く仲間たち



齊藤 綾香さん
(3年・栃木・栃木第四小)

文部科学大臣賞受賞 「姉からの挑戦状」

第72回全国小・中学校作文コンクール 中央審査 中学生の部において、齊藤綾香さんの「姉からの挑戦状」が文部科学大臣賞に輝いた。難病で亡くなった姉の闘病を書くことで自分の気持ちを整理したという。齊藤さんは、「今後は医学の道に進めるように、勉強をがんばりたい」と抱負を語った。研修旅行で出席できなかった表彰式には、受賞の喜びを語った動画が流された。

日本大学付属学校等 第39回文芸コンクール 入賞

5年生の江森瞳さん(明和・明和西小)が読書感想文の部で、また、同じく5年生の南川千佳さん(館林・第一小)が俳句の部で、それぞれ佳作となった。生徒のみなさんにはこの機会を文学に親しむ一助としてほしい。



第25回日本太鼓ジュニアコンクール 栃木県予選会

第3位 和太鼓部

令和4年度 税に関する作品

- 標語の部 栃木県安足県税事務所長賞
長谷部 蓮(2年・羽生・岩瀬小)
佐野市長賞
米山亜莉沙(2年・久喜・栗橋南小)
- 作文の部 栃木県安足県税事務所長賞
神山 美優(3年・佐野・犬伏東小)
佐野市あそ商工会長賞
山中 星乃(3年・伊勢崎・宮郷第二小)

全国中学生人権作文コンテスト栃木県大会

優良賞 野口 綾政(1年・五霞・五霞西小)
神山 美優

第34回読書感想画中央コンクール栃木県コンクール

優秀賞 清水 聖乃(1年・佐野・あそ野学園義務教育学校)

令和4年度 栃木県心の輪を広げる障害者理解促進事業「障害者週間のポスター」

優秀賞 人見 香音(3年・佐野・犬伏東小)
佳作 長 姫妹有(2年・栃木・家中小)
片柳 那望(3年・館林・第二小)

令和4年度 人権に関する作品

イラスト 優秀賞 神山 美優
作文 優秀賞 坂口 真央(4年・大泉・南小)
南川 千佳

栃木県U15後期リーグ戦

優勝 男子バスケットボール部

第30回栃木県ヴォーカルアンサンブルコンテスト

銅賞 合唱部

第55回下野教育書道展

金賞 神山 実穂(1年・栃木・栃木中央小)
神山 美優

第24回栃木県学校教育書写書道作品展

半紙の部
金賞 神山 実穂
石原 妃菜(4年・太田・旭小)
澤井 優実(6年・栃木・大平西小)
長谷川咲耶(6年・足利・大月小)

条幅の部
金賞 居上 真実(5年・佐野・赤見小)

第59回全日本書初め大展覧会

日本武道館賞
神山 実穂 居上 真実
特選
齊藤 綾香
澤井 音羽(4年・栃木・大平西小)
北野 志歩(5年・加須・加須小)

「いざ!」 というときのために!! 救急救命講習

3年:11月1日(火) 5年:11月25日(金)



佐野市消防本部の方をお招きし、3年生と5年生が講習会を受講しました。



編集
後記

6年前、あどけない幼い笑顔で入学したみなさんは、自分の進路に向け、悩みながらも真摯に取り組み、この18歳の人生の、実に3分の1にあたる長い年月を、今、隣にいる友人たちと過ごしてきました。学年主任の松岡先生や教員人生の始まりの6年間をみなさんとともに過ごした担任の大橋先生はもとより、みなさんに関わったすべての先生方がこの日を祝っています。ついに、巣立ち行く日です。どうか、みなさんの羽ばたく日が、澄んだ青空の佳き日でありますように。これからみなさんの進む道が、明るい光に満たされますように。ご卒業おめでとうございます。(長谷川記)

広報わかざくら VOL.62

佐野日本大学中等教育学校 栃木県佐野市石塚町2555
☎0283-25-0111(代) <https://ss.sano-nichidai.jp/>